

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山末
日 時	令和元年5月8日(水曜日)		開 議 午後 1 時 30 分
			閉 議 午後 3 時 30 分
出席委員	◎富谷 ○並河 長澤 大塚 三宅 小松 平本 西口 (齊藤議長)		
理事者 出席者	【環境市民部】由良部長 [環境政策課] 山内課長、明田主幹、亀井施設整備係長、相原主任 【健康福祉部】河原部長 [高齢福祉課] 山内課長、松本副課長、木村介護保険係長、山口高齢者係長		
事務局	鈴木議事調査係長、山末主査		
傍聴者	市民 1名	報道関係者 1名	議員0名

## 会 議 の 概 要

### 1 開 議

### 2 行政報告

[理事者入室] 健康福祉部

#### (1) 令和元年度 敬老乗車券事業について

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<高齢福祉課長>

(資料に基づき説明)

～ 1 3 : 4 1

[質疑]

<小松委員>

利用率が6%であり、非常に少ないと思うが、理由は把握しているのか。

<高齢福祉課長>

高齢になると、バスで移動できる人が限られてくるのではないかと考えている。高齢者の事故が増えていることから、市としてはできるだけ公共交通機関を利用していただきたいということでこの事業を始めたが、バスの本数や路線等の課題がある。家族に送迎してもらえる人もいる。利用者をふやすには広報を行っていかなければならないと考えている。

<小松委員>

長い距離であっても1枚で乗れるのか。

<高齢福祉課長>

そうである。敬老乗車券に金額の明記はしていない。

<小松委員>

タクシーについては2枚までが限度となっているが、例えば、高齢者が2人で乗った場合に、2人で2枚ずつ出し合って4枚利用したりすることはできないのか。

<高齢福祉課長>

タクシー会社との契約で、1乗車につき2枚までを上限としている。

<西口委員>

昨年度は敬老乗車券を何冊作成し、何冊余ったのか。

<高齢福祉課長>

2千冊作成し、1,869冊販売した。90%以上販売することができた。

<西口委員>

利用者からはもっと買いたいという声も聞く。余っているものを希望する人に販売できないのか。

<高齢福祉課長>

ほぼ予算どおりの執行をしており、2冊という制限を緩和することは難しいと考えている。今年度も引き続き実証実験を行い、広く利用者をふやしていく方向で考えたい。

<西口委員>

敬老乗車券に頼らざるを得ない人もいると思う。今後の課題として検討してもらいたいと考えるがどうか。

<健康福祉部長>

敬老乗車券事業は、平成29年度から敬老会の予算を活用する中で進めてきた。現在のところ、利用者が伸びていない理由の分析がまだできていない状況である。今年度は新たにタクシーにも取り組む中で、その状況を踏まえ、今後、敬老乗車券事業をさらに充実していくのか、別の事業に切り替えていくのかということをも十分検討すべき課題と認識している。

<長澤委員>

2、3人でタクシーに乗り合わせた場合は、それぞれがチケットを出すことになるのか。もしくは乗車自体を1人に限るのか。

<高齢福祉課長>

1乗車につき2枚までとしたいと考えている。敬老乗車券を持っている人が複数いる場合は、その中で相談して出していただきたい。複数の人が乗車してはいけないということではない。

<長澤委員>

申し込みが想定より多かった場合、発行冊数をふやすのか。

<高齢福祉課長>

利用者が多くなれば補正での対応も考えなければならないと考えているが、当初予算の範囲内で行う考えである。

<三宅委員>

今年度は何冊発行する予定なのか。

<高齢福祉課長>

2千冊を発注する。状況を見て増冊等も検討していきたい。

<平本委員>

確認だが、敬老乗車券を販売する所は。

<高齢福祉課長>

6月3日から高齢福祉課の窓口で販売する。また、各自治会で1回以上は自治会販売を行いたいと考えている。人権福祉センター、東部文化センター、保津文化セン

ター、犬甘野児童館で6月4日から7月31日まで販売する予定である。

<平本委員>

特定された購入先しかないのでは、なかなか使いにくいという声もある。入手ルートをもう少し広げてほしいというようなアンケートはとっているのか。

<高齢福祉課長>

現在のところは実施していないが、今後、検討していきたい。6月3日時点では現在予定している内容で広報していきたいと思う。

<平本委員>

販売の方法も利用者の使いやすいように改善いただければと思う。要望である。

<並河副委員長>

今回からタクシーを加えたことにより利用者がふえるとは思いますが、まだまだ利用者数が少なく課題があると思う。今後、拡大に向けた方向性はあるのか。

<健康福祉部長>

敬老乗車券事業は、高齢者の外出促進等を少しでも後押しできるようにということを進めている。バス交通については、高齢者の移動手段の確保だけに関わらず、市全体のバランスを考えながら検討すべき課題であると認識しているので、今後も全庁的に検討していきたい。

<大塚委員>

使用期限が令和3年3月末までとなっているが、もう少し長くする考えはないのか。

<高齢福祉課長>

使用期限は約2年間としているが、2年間の間にほぼ使用していただけていると思う。平成30年度に販売した分は73%利用されており、今年度も利用できるのでは、ほぼ利用されるのではないかと思う。

<富谷委員長>

対象者に「70歳未満で運転免許証を自主返納した者」とあるが、運転免許証を自主返納した人は何歳でも対象になるのか。

<高齢福祉課長>

運転免許証自主返納者であれば何歳でも販売する。

<富谷委員長>

敬老乗車券を購入したものの、何らかの事情によりバスに乗ることができなくなった場合、他の人に譲ることはできないのか。

<高齢福祉課長>

敬老乗車券は要綱により運用しており、申請をいただいた人に対して販売しているため、購入した人に利用いただきたいと考えている。

<富谷委員長>

今後、そういったことが可能となるように要綱を改正できないのか。

<三宅委員>

データを取っている所以他の人に譲るべきではないと思う。どちらかというと返金の方が現実的なのではないか。

<高齢福祉課長>

今後、そういったことも踏まえて検討していきたい。

<長澤委員>

バスで亀岡市外まで行った場合に敬老乗車券は利用できるのか。

<高齢福祉課長>

亀岡市内の分については敬老乗車券を利用いただき、そこから発生する運賃は現金

で対応いただくこととしている。

～14:03

## (2) 亀岡市介護保険条例の一部を改正する条例について

<高齢福祉課長>  
(資料に基づき説明)

～14:12

[質疑]

<並河副委員長>

これまで消費税の増税が2回延期されてきたが、そういったことに対する含みはないのか。

<高齢福祉課長>

法律が改正されているため、それに伴って準備を進めている。特に情報は入っていないが、情報が入れば説明を行いたいと思う。

[理事者退室]

～14:15

[理事者入室] 環境市民部

## (1) 亀岡市新火葬場整備基本計画について

<環境市民部長>  
(あいさつ)  
<環境政策課長>  
(資料に基づき説明)

～14:46

[質疑]

<大塚委員>

用地買収は全て終わっているのか。

<環境政策課長>

土地開発公社が土地を先行取得しており、それを市で買い戻す計画である。

<並河副委員長>

以前に住民訴訟で火葬場の問題が議論され、建設予定地については、がけ崩れ等の問題が言われていたが、そういった心配はないのか。また、当時は多額の費用がかかるということが言われていたが、それについてはどうか。

<環境政策課長>

土地については、今年度に地質調査を行う予定である。できるだけ土地の現状に合わせた整備を考えていきたい。また、財政面の負担を考慮するという意味でもPFIの手法を使いながら財政負担の軽減を図っていきたい。

<並河副委員長>

近隣住民に対して、審議会からの答申を受け、余部町丸山で建設を行うという説明

は行ったのか。

<環境政策課長>

審議会からの答申を受け、亀岡市が基本計画において余部町丸山で整備を行っていくという決定をしたということであり、まずは当委員会で説明を行い、今後、住民への説明を行っていききたい。

<並河副委員長>

現時点では何も説明をしていないということか。

<環境政策課長>

審議会の委員に亀岡地区の住民が入っていただいております、審議会から整備構想をいただき、基本計画として取りまとめた経過がある。住民に対しては真摯に説明を行っていききたい。

<並河副委員長>

説明を行う時期はいつごろか。

<環境政策課長>

5月27日に審議会の委員への説明を行った後に市民に対して説明を行っていききたいと考えている。また、6月10日からはパブリックコメントを行い、市民意見を集約していききたい。

<環境市民部長>

市民への説明は大切だと思う。長年の懸案事項であったが、やっと動き出してきた。今後、測量や地質調査を実施し、基本設計も行っていく。住民への説明を行いながら進めていききたい。

<長澤委員>

審議会の答申では、事業手法について言及されていたのか。

<環境政策課長>

具体的に明記はされていないが、手法を研究するということは議論としてあったので、民間活用手法を念頭に置きながら計画策定を進めてきた経過がある。

<齊藤議長>

国道が土砂崩れで通行止めになったりしたこともあり、地質が悪いのではないかと心配している。地質調査の結果、建設にふさわしくないということになれば変更はできるのか。

<環境政策課長>

地質調査の結果を踏まえて検討していくことは大前提だが、以前の調査では、地質的には岩で安定しているということであった。今回の地質調査でも確認していききたい。

<齊藤議長>

ふさわしくないということになった場合はどうなのか。

<環境市民部長>

調査の結果、どうしても危ないということが科学的に言えるようであれば、その時に改めて検討したい。現在は、事業を前向きに進め、問題が出てくればその都度検討していききたい。

<齊藤議長>

アクセス道路について、緩やかなカーブが最も危ないと思う。亀岡インター方面から来る際に、形状を変えたり道を広くしたりするなどの考えはあるのか。

<環境政策課長>

アクセス道路については、公安との協議を進めていききたいと思う。どのような形が

最も安全なのかを検討してきたい。

<齊藤議長>

葬儀業者と亀岡市の火葬場の話をしていると、山につくるのは時代おくれたと言われた。雪が降ると坂を上れなかったり維持管理に思わぬ出費が必要になったりすることもある。そういう検討は行っているのか。

<環境政策課長>

審議会での検討の際には平坦部での整備という意見もあったが、自然に包まれながらという施設のコンセプトもあり、そういう意味では丸山での整備がよいのではないかという意見もあった。安全対策を万全に行っていきたい。

<平本委員>

整備の面積が約2,380平方メートルということだが、この面積の算出根拠は。

<環境政策課長>

基本計画策定の中で、同規模の市町の施設のデータを集め、その中から費用的なものも含めて算出した。

<平本委員>

具体的にモデルにした火葬場は。

<環境政策課長>

大阪府泉佐野市や泉南市、山形県酒田市の火葬場を参考にしている。また、施設規模的な観点では、湖北広域行政事務センター新斎場整備運営事業や小田原市斎場整備運営事業等を参考にしている。

<平本委員>

その中にロケーションも似ているところはあるのか。

<環境政策課長>

山に上っていくようなところは少ないが、審議会で視察を行った篠山市斎場は、山の上ではないが、山に入っていく施設であり、ロケーションは似ている。

<並河副委員長>

現在の火葬場の場所に建設してはどうかという意見もあるが、それは難しかったのか。

<環境政策課長>

下矢田町の住民が長い間火葬場の近隣で生活されてきた経過もあり、そのあたりも配慮すべきという意見があった。下矢田みどりの郷広場が隣接していることもあり、面積的には不可能ではないと思うが、そういったことから余部町丸山という結論に至った。

<並河副委員長>

近隣住民は場所を変えてほしいとは言っていないという話を聞いている。道路の整備をきちんとしてもらえればという話も聞いた。これまで問題があったところに多額の費用を使うのが最良の方法なのかという疑問がある。地質調査等をきちんと行って、方向性を見出してほしいと思う。

<環境市民部長>

今後、説明会等で市民に理解いただけるよう努めていきたい。

[理事者退室]

～15:10

### 3 行政視察について

<富谷委員長>

5月20日に鹿児島県大崎町、5月21日に鹿児島県志布志市、5月22日に鹿児島県いちき串木野市で視察を行うこととなった。調査の視点や考察すべき事項、また、視察先に特に説明を求めたい点などについて、視察項目ごとに検討を行う。まず、大崎町のごみ減量の取り組みについて、事務局より説明願う。

<事務局主査>

[視察先の概要について説明]

<富谷委員長>

これについて、視察先に特に説明を求めたい点はあるか。

<小松委員>

日本一のリサイクル率だが、これに対して町民はどう感じているのか。アンケートを取っているのか。負担に感じていないのか等を聞きたい。

<齊藤議長>

民間のリサイクルセンターが平成11年に建設されたとのことだが、建設に至る経緯を知りたい。

<富谷委員長>

次に、志布志市のごみ減量の取り組みについて、事務局より説明願う。

<事務局主査>

[視察先の概要について説明]

<富谷委員長>

これについて、視察先に特に説明を求めたい点はあるか。

<齊藤議長>

先ほどの大崎町もそうだが、執行部が海外に行った際に、議員も一緒に行っているのかを知りたい。日本の取り組みを海外に発信していくためには、行政とともに議会もやっていかなければならないのではないかと思う。

<富谷委員長>

次に、いちき串木野市のいちき串木野電力について、事務局より説明願う。

<事務局主査>

[視察先の概要について説明]

<富谷委員長>

これについて、視察先に特に説明を求めたい点はあるか。

<小松委員>

防災面について、役に立つことを考えているのかを知りたい。

<富谷委員長>

本日の意見を踏まえ、特に説明を受けたい事項については、事務局を通じて、事前に相手先と調整を行う。なお、本日の資料等により、各委員で事前に調査を進めていただき、特に聞きたいことなどがあれば、5月13日(月)までに事務局まで報告願う。また、当委員会の視察には、議長も参加される予定であるので、ご承知おき願う。

～15:26

#### 4 その他

<富谷委員長>

次回の委員会の日程を調整する。  
(日程調整)  
<富谷委員長>  
次回の委員会は5月28日(火)午後1時30分からとする。

散会 ～15:30